

再発見かながわの旅くにないがい～国内外から多くの人を引きつける神奈川の魅力について～

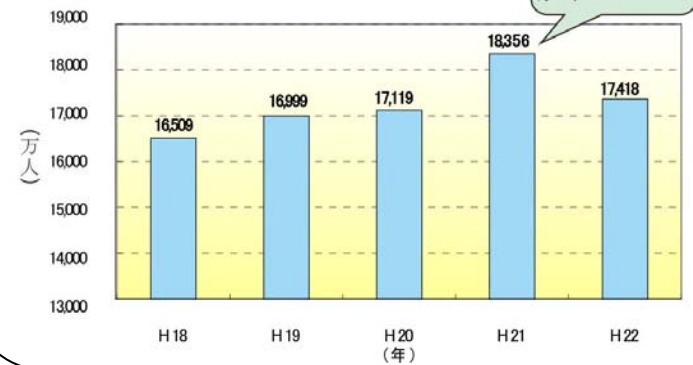


平成23年12月21日 観光課作成

第3回「黒岩知事との“対話の広場” Live神奈川」説明資料

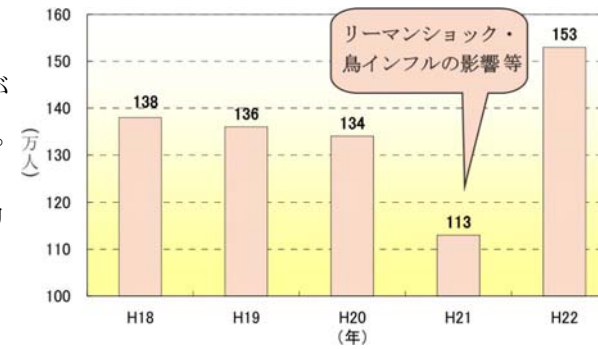
神奈川県現状

<観光客数の推移> (最近5年間) 開国博Y150 効果(1000万人)



- 観光客数は、首都圏からの日帰りが多い割合を占める。全体の92.6%。
- 来訪形態は、個人旅行が主流。
- 観光客の満足度、再来訪の意向、リピーター率が高い。

<外国人旅行者数の推移> (最近5年間)



- 海外からの旅行者は、東アジアからの来訪が多い
- ※本県への国籍別来訪者数(平成22年)
第1位中国(51万人) 第2位韓国(26万人)
第3位台湾(17万人) 第4位米国(15万人)

<東日本大震災による影響>
震災発生直後～ゴールデンウィークまでは、自粛ムード等により観光客数が激減したが、国内観光客については、夏には前年度並みに回復してきている。
一方、外国人旅行者は、徐々に回復に向かっているが、前年並みには至っていない。

観光振興にあたっての課題

- 宿泊滞在型観光の促進 (宿泊客の増加)
- 外国人旅行者の回復に向けた取り組み
- 地域の個性を生かした魅力づくり
- 旅行者ニーズの多様化への対応 (体験・交流等)
- 行ってみたい・住んでみたい地域づくり
- 観光客の受入体制整備及び観光人材の育成

観光立県に向けた施策

(神奈川県観光振興条例)

<取組例>

魅力ある観光地の形成

- ・ エコツーリズム・グリーンツーリズム・産業観光の推進、相模湾・東京湾を活用したアクアツーリズム

神奈川の魅力を伝える広報宣伝の充実

- ・ 観光キャンペーンの実施、ホームページからの情報発信、アンテナショップの運営

観光の振興による地域経済の活力の向上

- ・ 地域産品の振興、地産地消の促進、観光に関する地域活動の促進

観光旅行者を迎える体制の整備

- ・ 人材育成推進、ホスピタリティの向上、観光案内体制等の整備

外国人観光旅客の来訪の促進

- ・ 海外観光展への出展や商談会の実施、外国人を引きつける観光魅力づくり

神奈川県の観光魅力

一本県の主な観光資源

- <自然> 箱根、丹沢、富士山、温泉、相模湾・東京湾、水・川 等
- <歴史> 鎌倉、大山、江の島、箱根旧街道・関所跡、小田原城 等
- <産業> 京浜臨海部の産業、工場夜景 等
- <都市> 景観、ショッピング、美術館、博物館 等
- <その他> 祭り、スポーツ、名産品、食、アニメ 等

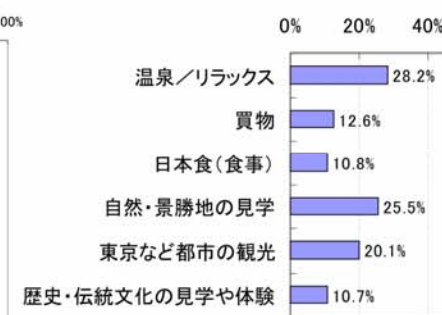


外国人観光客から見た神奈川県の観光魅力

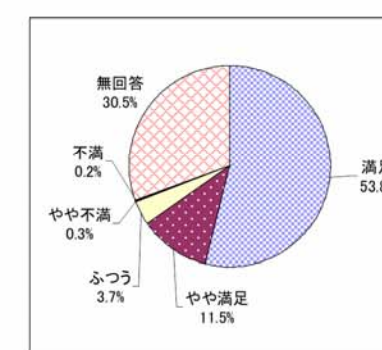
①訪問地



②訪問目的



③満足度



④不満を感じた点

項目	比率
宿泊施設	3.4%
温泉	4.2%
食事	4.1%
案内標識・ガイド	3.4%
情報のとりやすさ	2.5%
無回答	75.9%

(平成22年度神奈川県外国人観光客実態調査結果)

重点的な取組み

オンリーワンの観光地づくりプロジェクト

<魅力ある観光地の形成>

- ・ 観光資源開発の促進
- ・ 観光まちづくりの促進、
- ・ 広域連携の促進
- ・ ホスピタリティの向上

観光で元気はつらつプロジェクト

<地域経済の活性化>

- ・ 観光産業の振興
- ・ 観光人材の育成
- ・ 観光プロモーション強化

外国人旅行者200万人来訪プロジェクト

<外国人旅行者の増加>

- ・ 羽田空港国際化に併せた誘客の強化
- ・ 海外観光プロモーションの展開
- ・ 受入体制の充実



くにないがい
国内外から多くの人を引きつける神奈川の実現